学びスクエア　SDGs 持続可能な明日へ

Ｚｏｏｍ使って出前授業

新聞を教材に国連が進めるＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）について学ぶ授業が６月中旬、水戸市の水戸啓明高校であった。「サイエンスフロンティアコース」の３年生21人がいる教室にあるのはパソコンに接続した電子黒板と定点カメラ。本来なら指導に出向く本社ＮＩＥ事務局の社員講師の姿はない。新型コロナの感染リスクを避けるため、テレビ会議システム「Ｚｏｏｍ」で学校と在宅勤務の社員の自宅を結び、双方向のオンライン形式で行われた。

ＮＩＥ事務局がＳＤＧｓ出前授業をオンラインで行うのは初めて。生徒たちは、教室の電子黒板に映し出される講師やスライドを見ながらＳＤＧｓについて学習した。そのあと、一人ひとりに配られた当日の朝日新聞朝刊を精読。



ＳＤＧｓ17目標とひもづけできる記事を探し、記事の脇に感想を記した目標アイコンつき付箋（ふせん）を貼り、各人各様の思考を共有した。

鈴木佑果さんは「働きがいも経済成長も」というＳＤＧｓの目標にからめて、「きょうの講師のように、自宅で仕事ができる人が増えれば、働き方改革につながるのでは」。佐藤梨夢さんは「遠く離れたまま、つながれるのは楽だし合理的」と話した。

担当した菊地仁志教諭（27）は「教員が抱いていた不安や疑問も払拭（ふっしょく）された。出前授業には今後も適宜、オンライン方式の採用を検討したい」と振り返った。

新たな学びの動きや教育改革・受験情報まで幅広くお伝えする「学びスクエア」を原則、土曜日に掲載します。出前授業のご相談は朝日新聞社ＮＩＥ事務局（03・5540・7870）まで。

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。